

臨時プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で27cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で180cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で100cells/ml、シュードシャットネラ・ベルクローサが最高で100cells/ml確認されました。

前報より有害種の最高細胞数は減少したものの、鳴無のシャットネラ属については被害が想定される細胞密度を越えた状態が続いています。一方、有害プランクトンと競合する珪藻類は少ない状態が続いています。

今後、天気予報のとおりに降雨があり、それから天候が回復すると、有害プランクトンが再び増殖する可能性があります。

十分に注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	ヘテロシグマ・アカシオ	シュードシャットネラ・ベルクローサ	珪藻類
中学校前	0m	0	0	60	90	10
	2m	0	50	40	80	50
	5m	0	90	30	20	20
目ノクソ	0m	0	10	30	100	0
	2m	0	2	10	50	30
	5m	10	30	10	0	20
光松	0m	0	20	60	50	30
	2m	0	70	50	0	250
	5m	2	40	20	0	0
大鹿	0m	1	20	100	30	0
	2m	1	30	40	10	150
	5m	1	60	10	10	100
水試小割前	0m	0	2	20	80	150
	2m	0	1	20	40	0
	5m	0	3	40	50	80
鳴無	0m	0	0	20	50	
	2m	2	40	20	10	
	5m	27	180	0	0	



- 漁業被害が想定される細胞密度**
- ・シャットネラ属：
10～100cells/ml(魚類のへい死)
 - ・カレニア・ミキモトイ：
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
 - ・ヘテロシグマ・アカシオ：
10,000～50,000cells/ml(魚類等のへい死)
 - ・シュードシャットネラ・ベルクローサ：
500～1,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>